

高橋さんが2
止した。きつ
かっている母
親にたつた。

誰にも送迎を
いると、たま
送ってくれ、
が送り届けて
「子供は仕事
かった。この
思った」とい

「ごちから」あ
たしまして』
なれば素晴ら
ている。問い
picup@ega

(佐藤裕子)



介護の仕事 魅力伝える

県内19職員「未来案内人」に

県は、県内で働く介護職
員19人を「介護の未来案内
人」に任命した。今秋、県
内の高校や大学などに派遣
して、介護職への理解を深
めてもらい、人材確保につ
なげる。

任命されたのは県内各地
の介護施設に勤める20、30
代の職員。派遣先では、就
職活動を控えた高校生や大
学生らに、仕事を選んだき
っかけや仕事の体験談を紹
介する。また、ツイッター
などのソーシャル・ネット
ワーキング・サービス(S
NS)を使い、勤務する職
場の様子や休日の過ごし方
も伝えてもらう。任期は来
年3月まで。

介護職は「給与の割に仕
事がきつい」などの印象が
強く、人手不足が深刻化し
ている。千葉労働局による
と、2017年度の県内有
効求人倍率1・28倍に対
し、介護分野は4・35倍に

上っている。未来案内人に
任命された鈴木邦明さん

若年性認知症 県が相談窓口

県は、65歳未満で発症す
る若年性認知症の患者や家
族の負担を減らすと、専
用の相談窓口を開設
した。自治体が提供するサ
ービスを紹介することで、患
者との橋渡し役となる。

県高齢者福祉課などによ
ると、県内の若年性認知症
患者は、2017年時点
1894人と推計されてい
る。40～50代の働き盛りに
発症することが多く、仕事
に支障が出て失職、経済
的に困窮するケースもある
という。

相談窓口は、
病院・認知症疾患医療セン
ター(千葉市中央区)に置
かれ、精神保健福祉士が患

(39)(君津市)は「入所者
や家族から感謝の言葉をか
けてもらうと、仕事の励み
になる。仲間が増えるよう、
介護職の楽しさや充実感を
伝えたい」と意気込みを話
していた。

者や家族の相談に対応し、
産業界や関係機関との情報
共有を促進したり、自治体
の自立支援制度を紹介した
りする。患者の職場からの
相談も受け付けている。

認知症と気づかず、患者
や周囲が精神的な負担を抱
える場合も多いといい、同
課は「気になることがあつ
たら積極的に活用してほしい
」としている。

祝日、年末年始を除く月、
火、水、金曜日の午前9時
～午後3時。電話での相談
も可能。問い合わせは相談
窓口(0433・2266・2
601)。

西日本豪雨救援募金

読売光と愛の事業団
03・3217・3473 (敬称略)

- ▽千葉市花見川区 玉川啓予
(5千円)▽船橋市 匿名(1万
円)、立川榮子(5千円)▽館山
市 匿名(5千円)▽市原市 宙
の会(1万5千円)▽浦安市 菊
池勝介(1万円)

公益社団法人...

「アビ
。集団アな
羽のしる。い
らりすわ(休
か回(の人
人)の来
恵さん
や)さ
され